

学校関係者評価委員会

開催日時：2018年度 7月3日（火）13時～

会場：関西美容専門学校 応接室

出席者：川島修身、石黒元也、後藤尚二郎

実施方法：各評価委員に自己評価報告書を通覧頂き、項目ごとに説明。
同時に施設見学、授業見学を行い、意見を聴取した。

—評価項目ごとの学校関係者評価・意見—

評価項目1 教育理念・目標

- ・理念、コンセプト、目標を設定し教職員に伝わっていると感じる。
- ・専門学校での即戦力を育成はサロン側としても願っている。
関西美容専門学校には今後も継続して継承し続けて欲しい

評価項目2 学校運営

- ・運営が苦しくなっている学校も多い中、歴史も長く適切にできているように感じる。

評価項目3 教育活動

- ・アンケートでの見直し自体は良い取り組み。しかし、ほぼ白紙の用紙や、一言だけの用紙も散見される。自身に返ってくるという事や、授業や教育環境に保護者がお金を出している事を忘れず、当たり前だと思わせない。そうするとアンケートにも身が入るはずなので徹底するべき。
- ・PEEK-A-BOOのカット研修など教職員も行い素晴らしいと感じる。

評価項目4 学習成果

- ・卒業生が自社サロンでも活躍している。昨今独立、出店する件数も多く、経営者同士で繋がりもある。
- ・退学者に関して学費の支払いに支障が出るケースが多いと聞く。保護者の奨学金使い込みなども聞く。奨学金の利用率が5割という事に驚いた。サロン側でも雇用体制や労働環境の改善が急務。地方出身者に居住のフォローなど勧めているが、学校でも必要ではないか。

評価項目5 学生支援

- ・現在社会人入学は少ないとの事だが、今後少子高齢化の世の中で、学び直し制度を利用しある程度年齢を重ねてから手に職をつけたいと思う人が増えるのではないかと？

評価項目 6 教育環境

- ・素晴らしく整えられた施設、設備環境だと思う。
- ・大阪北部地震も起こり、防災訓練など安全対策はしすぎて困ることはない。
- ・海外研修に関しては独自性があり素晴らしい、インターンシップに関しては学びの質さえ担保されれば選択制などで希望者のみ行っても良いのではないかな。
- ・入社前にサロン研修などはどうか。

評価項目 7 学生募集

- ・在校生は何を期待して入学を決めたか、入学前のアンケートと入学との相互関係を見ても良いかもしれない
- ・高校の先生の美容学校への指導の現状として、美容学校・専門学校を避ける傾向かと思っていたが、大学進学率の高低で指導が違う事に驚いた。高校の先生にも美容の事について良く知ってもらう必要がある。
- ・どこの学校も学生募集にはとても苦労していると聞いている。その中で関西美容は定員充足と非常に良い水準を保っていると感じる。
- ・ウィッグ等材料費は高騰し続けているので、学費の増加は致し方ないと感じる。

評価項目 8 財務

- ・現状に問題ないと思う。適正と認識している。
- ・今後に関しては少子化で関西の18歳人口が5年で1割減るとの事で維持がますます難しくなるのではないかと懸念しているが、社会全体の問題なので対策が困難と思う。

評価項目 9 法令などの遵守

- ・現状に問題ないと感じる。適正である。

評価項目 10

- ・海外交流を長く続けている事は素晴らしい。
- ・留学生の受け入れに関しては語学学校では進学目当て5割、母国日系企業への就職目的が5割と聞く。現在美容師業界での就職環境はほぼ無いが、今後は不明。対策が必要になる可能性もあるかもしれないと感じる。